

式 辞

本日ここに保護者の皆様と共に、福井工業高等専門学校本科ならびに専攻科の令和7年度入学式を挙行できますことは、私達教職員一同にとりまして大きな慶びであります。

本日入学される新入生は、1年生192名、マレーシア、タイ、インドネシアからの留学生4名、並びに専攻科生23名、合計219名であります。ここに多彩な志を持った学生が、県境を越え国境を越え本校に入学されること、福井工業高等専門学校を代表して心より歓迎いたします。また、ご列席頂きました保護者の皆様には、お子様の晴れの姿をご覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。本校を代表して心からお祝いを申し上げます。

入学された皆さんは、ものづくりの本質に触れ、持続可能な未来社会の構築に挑み、国境を越えた技術革新を牽引する意欲にあふれた優秀な人材です。本校での学びを通じて日本のみならず世界を明るく未来に導く技術者に成長していただきたいと心より願っております。

福井工業高等専門学校は1965年実践的技術者を養成する高等教育機関として創立され、今年創立60周年という記念すべき年となります。本校は、60年の歴史と伝統を礎に、「優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する」ことを基本理念として教育・研究活動を実践して参りました。創立以来、すでに9145名の優秀な卒業生、修了生を世に送り出し、国内外の産業界をはじめ各界から高い評価を頂いております。卒業生の中には起業家として優良企業を経営している方、研究者として最先端の科学技術の発展に貢献している方、そして地域社会の発展に貢献されている方などが多数いらっしゃいます。

現代社会は、AI、IoT、ビッグデータといった情報技術の急速な革新、地球温暖化などの環境問題、そして、急速なグローバル化の進展など、私たち人類が直面する課題はますます複雑化・多様化しています。このような時代において、技術者には、単に専門知識や技術を駆使するだけでなく、倫理観に基づいた広い視野と柔軟な発想力を持ち、複雑な課題を解決していく能力が求められています。本校は、将来、皆さんがこれらの課題に挑戦し、未来を創造するために一般科目や専門科目からなる正課に加え、アントレプレナーシップ教育やグローバルエンジニアの育成にも力を入れています。例えば本校独自の「ガリレオの卵コンテスト」や「ガリレオコンテスト」では、自らが興味を持った内容に挑戦し、解決策を模索することができます。このような機会を通じて答えのない課題に挑戦する力を身に付けることができます。また、本校カリキュラムの特徴の一つである学際カリキュラムでは、自分の専門分野の幅を広げ融合複合型の考え方をを持った技術者となるために、他の工学分野の基礎的な学力と能力を身に付けます。そして学際カリキュラムで開講されるプロジェクト演習は、チームで協力し、解決すべき課題を見出すとともに解決策を企画提案します。この中のいくつかのアイデアを福井高専ビジネスアイデアコンテ

ストなどに発展させ、専門分野を超えた技術やアイデアをビジネスに繋げる実践的な学びの機会として提供しています。

皆さんには、授業や部活動のみならず高専生を対象としたロボコンやプログラミングコンテスト、そして11月に本校主管で開催される全国高専デザインコンペティションなどの各種コンテストへの参加の他、台湾やシンガポールの海外研修や海外インターンシップなどのプログラムにも積極的に参加して頂きたいと思います。

新入生の皆さんは、今、高専生活に向けた期待に胸を膨らませていることと思います。是非、初心を忘れず、何より「学生の本分は学業である」ことを第一に、高専生活を送ってください。そのためには、日頃から自学自習の習慣を身に付け、様々な物事に疑問を持ち、自ら学ぶ姿勢を作り上げていくことが重要です。5年間の高専生活の中では、時には困難に直面することがあるかもしれません。しかし、諦めずに挑戦し続けてください。私たち教職員一同、皆さんの挑戦を全力でサポートいたします。新入生の皆さんが、10年後、20年後、そしてさらにその先の未来を希望にあふれた輝かしいものに創りあげていく、その先頭を走る人材に成長していくことを心から願っています。

最後に保護者の皆様には、本校の教育方針をご理解賜り、学校と共にご家庭においてもお子様の教育、ご指導にご協力ご支援賜りますようお願い申し上げます。また、今後とも、伝統ある本校教育の発展にご尽力賜りますよう、心からお願い申し上げます、私の式辞とさせていただきます。

本日は、ご入学おめでとうございます。

令和7年4月4日

独立行政法人国立高等専門学校機構

福井工業高等専門学校長

長谷川 章